

教材教具名 どっちかな箱	教科（算数）	情報提供者（ ）
-----------------	--------	-------------

教材教具写真



教材教具の概略（ねらいと使い方） ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - ふたのある物を開けたり閉めたりする。
 - 色を手がかりにして中身の入っているほうを選ぶ。
- 2 発達段階など
 - 感覚を通して外界とのかかわりを広げる時期
 - 操作することを通して認識する時期
- 3 使い方
 - 箱のふたを開けておく。
 - 児童の目の前で一方の箱にりんごの模型を入れる。
 - ふたを閉める。
 - どちらの箱にりんごの模型が入っているかを選び、その箱を開ける。
 - りんごの模型を教師に渡すと、シートブランクをする。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等（次に利用する方のために）

ふたのある箱に指で持つところを付けて、色が手がかりになるように黄色と緑色のシールを全面につけた。次にある活動を楽しみにできると意欲的に参加すると思い、教員に模型を手渡すとシートブランクをすることにした。

次の活動を見通せる子にとっては意欲付けになった。りんごを選択することが直接的な結果ではないため、活動を理解する場合に混乱してしまう子どももいた。そこで、箱を一つにしてふたを開ける動作のみを重点的にすることはできた。

二つのうち一つを選ぶことが確実にできなかったので、一対一の対応で箱に入れることから取り組んでいきたい。